

スマイルズ誕生～夢のはじまりはあるスープストーリーから

1997年、スープが食事の中心になるなんて誰も想像できなかった時代。

三菱商事の商社マンであった遠山正道は、スープ専門店のファストフードが都市の生活の中に溶け込み、スタンダードになっていくという、未来予想図を書き下ろしました。それが「スープのある一日」という、企画書です。

Soup Stock Tokyo は、今でこそ実在するファストフードとして多くのお客様に支持されていますが、初号店の開店までには、多くの難関が待ち受けていました。

「スープだけで商売になるのか？」

「暑い夏にスープなんて売れるのか？」

挙げればきりが無い、反対意見の数々。

そんな中、このユニークな企画書は、

賛同してくれるすばらしい仲間を集める引力になり、また仲間に勇気を与えてくれました。

今では都市の生活にすっかり溶け込んだ Soup Stock Tokyo。

そんな Soup Stock Tokyo のすべての始まりは、この企画書だったのです。

実はこの企画書には、まだ実現されていない「未来予想」がたくさん描かれています。

書籍『スープでいきます～商社マンが Soup Stock Tokyo を作る』（新潮社・遠山正道著）に掲載されていますので、ぜひ読んでみてください。

